

原子力発電事故を想定した避難訓練を実施

〔関〕危機管理課 ☎36・7320

2月16日、県と中部電力浜岡原子力発電所周辺10市町は、原子力防災実働訓練を実施しました。

訓練では、浜岡原発で重大事故が起き、放射性物質が外部に放出されたと想定。菊神自治会の住民約25人が参加し、菊川の里会館へ避難後、新東名静岡SAに移動して放射線測定検査や簡易除染を体験しました。

また今回は、避難所へ向かう住民の前進目標となる「避難経由所」の開設・運営訓練を初めて実施。避難経由所となった原子力防災センター



模擬安定ヨウ素剤を受け取る住民

(牧之原市)では、避難者の検査済証の確認や避難所への誘導指示などの検査が行われました。

蓬萊橋お休み処兼物産販売所が3月20日(火)にオープン

〔関〕観光課 ☎36・7402

3月20日(火)、市を代表する観光名所「蓬萊橋」の左岸側に、お休み処兼物産販売所「蓬萊橋897・4茶屋」がオープンします。

茶屋内には「島田の逸品」などの名産品が並ぶほか、「島田市緑茶化計画」コンセプトティーなども販売される予定です。また、トイレを改修し、番小屋を茶屋東側に設置。新たに蓬萊橋のライトアップ設備を常設しました。今後、工夫を凝らしたイベントなどに活用していきます。



「蓬萊橋 897.4 茶屋」店内イメージ図

市内5高校および3経済団体と包括連携協定を締結

〔関〕戦略推進課 ☎36・7120

市内5高校および3経済団体と市による包括連携協定の締結式が、2月3日に行われました。

協定を結んだのは、島田・島田工業・島田商業・金谷・島田樟誠高校と島田商工会議所、島田市商工会、島田市観光協会と市の9者。今後、人材育成やまちづくりなどの分野で連携協力していきます。

染谷市長は「若い時に地域への愛着を深め、島田に根っこを持つ優秀な人材を育てていきたい」とあいさつしました。



協定書に署名した関係団体代表

静岡産業大学と市内飲食店がお茶を活用した商品を開発

〔関〕戦略推進課 ☎36・7117

1月30日、静岡産業大学情報学部 of 学生と市内飲食店が共同で考案した「お茶を活用した商品」の発表会が、市役所で開かれました。

これは「しずおか中部連携中核都市圏」における連携事業の一環で、同学部の生徒約30人が、昨年10月から新商品の開発に取り組んできました。この日は、お茶を使用したジャムやタルトなど、若い感性が光る7品を発表。今後は、各店舗ごとに商品化を検討していきます。



試作品を撮影する学生たち